

機関研究「包摂と自律の人間学」領域
プロジェクト「ケアと育みの人類学」成果公開

エイジング

— 多彩な文化を生きる —



Living in a Community of Resilience :
A Comparative Study on the Search for Well-being in Multicultural Aging Societies



● セッションI 「文化多元社会における高齢者のウェルビーイング」

2012年2月25日[土] 13:00~17:00

国立民族学博物館講堂 (定員 450名)

申込: 不要

Date : February 25 (Sat), 2012 13:00-17:00

Venue: National Museum of Ethnology, Auditorium

日英同時
通訳あり

● セッションII 「高齢者のウェルビーイング追求から生活の場の共有へ」

● セッションIII 「災害地における生活変動と高齢者ケアの展開」

2012年2月26日[日] 9:30~17:00

国立民族学博物館第4セミナー室 (定員 80名)

申込: エイジング・シンポジウム事務局

life@idc.minpaku.ac.jp へ事前申請してください。

Date : February 26 (Sun), 2012 9:30-17:00

Venue: National Museum of Ethnology, Seminar room 4

日英同時
通訳あり

みんなの
携帯
サイト

主催: 国立民族学博物館

協力: The Primary Care Research Unit at Monash University (Australia)

Healthy Ageing Research Unit at Monash University (Australia)

後援: 東北福祉大学、日本文化人類学会、多文化関係学会、河北新報社





高齢化や人々の移動により文化や価値観の多元化が進行する社会で、人々は何を拠り所として時空間を共有し、文化を伝達してゆけるのか。機関研究プロジェクト「ケアと育みの人類学」は、ライフコースにおける諸課題に応えるために培われてきた多様な文化に焦点をあて共生の諸要素を照らし出すことが目的である。このシンポジウムでは、多文化状況や生活の激変を経験する高齢者のウェルビーイングを考えることをとおして、多様な文化的価値観・文化資源の共有に向けた具体的実践、地域生活者が共生環境を創出する意義と方途を明示する。

セッションI 「文化多元社会における高齢者のウェルビーイング」

The Well-being of Older Persons in Culturally Diverse Societies

13:00-13:05	開会の辞	鈴木 七美
13:05-13:10	館長挨拶	須藤 健一 Ken'ichi Sudo
13:10-13:25	趣旨説明	鈴木 七美
13:25-14:00	講演	Leng Leng Thang, "Ageing and the Well-being of Older Persons in Singapore"
14:00-14:35	講演	Susan Feldman, "Understanding Ageing Well in Culturally Diverse Australian Communities: The Case of Older Men Living in Rural Victoria"
14:35-14:45	休憩	
14:45-15:20	講演	Itsuko Kanamoto, "Active Ageing and Well-being of the Japanese Elderly in Brazil"
15:20-15:55	講演	Hyunsoo Hong, "Terminal Care and Well-being in South Korea"
15:55-16:05	休憩	
16:05-16:55	全体討論	コメント: 谷口 陽子
16:55-17:00	閉会の辞	鈴木 七美

セッションII 「高齢者のウェルビーイング追求から生活の場の共有へ」

Creating a Place for Everybody in the Pursuit of the Well-being of the Elderly



9:30-9:50	趣旨説明	鈴木 七美
9:50-10:20	発表	佐野(藤田) 眞理子「アメリカ人高齢者とボランティア活動の意味」 Mariko Fuita-Sano, "American Elderly People and Voluntary Activities"
10:20-10:50	発表	谷口 陽子「日本の高齢女性のウェルビーイング追求の多様な手段」 Yoko Taniguchi, "Various Means for the Pursuit of Well-being by Japanese Elderly Women"
10:50-11:00	休憩	
11:00-11:30	発表	鈴木 七美「地域の育み: 高齢者ケアからヴァナキュラーな知の共有へ」 Nanami Suzuki, "Creating and Cherishing a Living Space: A Search for Shared Vernacular Knowledge of Local Life through Caring for the Elderly"
11:30-12:00	討論	コメント: Leng Leng Thang
12:00-13:00	昼食	

セッションIII 「災害地における生活変動と高齢者ケアの展開」

Studies on the Care of Older People Living in the Aftermath of the East Japan Great Earthquake Disaster

13:00-13:40	講演	小泉 敦保「東日本大震災から学び、伝えたいこと」 Nobuyasu Koizumi, "Something to Be Learned and Told from an On-site Experience of the East Japan Great Earthquake Disaster"
13:40-14:20	講演	鈴木 玲子「運動を切り口とした高齢者コミュニティの活性化」 Reiko Suzuki, "Activating a Community of Elderly People by Conducting Gymnastics"
14:20-14:35	休憩	
14:35-15:15	講演	萩野 寛雄「災害後の高齢者・地域住民のケアへの大学のかかわり」 Hiroo Hagino, "Care of Elderly People and Local Residents after the Disaster: Centering on a University"
15:15-16:00	討論	コメント1: Susan Feldman コメント2: 谷口 陽子
16:00-16:55	全体討論	コメント1: 金本 伊津子 コメント2: 佐野(藤田) 眞理子
16:55-17:00	閉会の辞	鈴木 七美

会場

*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分(展示をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)

「公園東口駅」下車徒歩約15分(「公園東口駅」からは自然文化園を通過せずに来館できます。)

- バス (近鉄バス)(阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分・JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
- (阪急バス)(万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約20分・JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー 万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●自動車 駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。

